

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

第64回県農業賞(農業経営改善部門)受賞

佐々木 春男 さん
明子 さん(伊達地域)

可能な限り遊休農地を引き受け、農地の維持と地域の発展にご尽力されている佐々木さんご夫妻。地域のつながりを大切に、経験と工夫を重ね、大規模栽培を成功させてきた。明子さんを見つめる春男さんの眼差しに、二人が歩んできた温かな月日が垣間見えた。



Profile ●ささき はるお

1961年生まれ。高校生の時から父の仕事を手伝い、1979年に家業を継ぎ、林業の傍らモモなどを栽培してきた。2012年頃から農業規模を拡大に力を入れ、畑の借り入れを始めた。

Profile ●ささき あきこ

1964年生まれ。結婚を機に就農。「(春男さんに)怒られながらやっています」と笑う。あうんの呼吸で春男さんをサポート。

主要作物(経営規模)

モモ(390アール)、リンゴ(80アール)、水稻(50アール)

農地引き受け、大規模に栽培
林業も潮時かなと思っ
時にモモやリンゴの畑を借りて

食して、おいしいと感じた作物
だけを出荷しているの、た
さんの人に食べてもらえたらう
れしいです。

箱崎には果樹共同防除組合が
あって、みんなの畑を一齐に消
毒します。自分一人でやったら
一日中消毒しなきゃだけど、5、
6人で4時間くらいで終わるか
ら、他の仕事をする時間も作れ
ます。剪定も有志で集まってみ
んなでやりますし、昔からみん
なでやる風土がありますね。

ほしいと頼まれることが増えて
きました。採算が合わないと思
える人もいますが、モモを買っ
てくれたお客さんに「リンゴあ
る?」と言われたら「あるよ」っ
て言いたい(笑)。人付き合い
にもつながるから、大きく栽培
して、全体として利益が出れば
いいと思っています。自分が試
食して、おいしいと感じた作物

モモ栽培390アール、効率化の鍵
6月後半から9月半ばまで14
品種を栽培し、長く採るよう
にしています。干ばつや長雨に備
えるリスク分散の意味もありま
す。天気が毎年違うから、そこ
が一番怖いよね。



9月12日(水)、内堀雅雄知事から表彰状を授与される佐々木さんご夫妻。おめでとうございます。

最初は失敗も…経験生かし指導

栽培面積を広げた当初は失敗もしたよ。「川中島」の隣に「はつひめ」を植えたら実がつかなくて：「受粉樹がないから当たり前前だ」と言われて(笑)。

自分も苦労したのに、新規就農者はなおさら。だから、最後まで面倒をみたいと思います。箱崎の若手みんなが「酒飲むぞ」とか何とか、声をかけて育ててくれるね。農業をやりたいと言ってくれる新規就農者の存在はありがたいです。

夢は大きく、箱崎地区全部!

今後、桃源郷出荷組合としてふるさと納税にも出るので、少しでも伊達市に協力できればと思います。また、防除組合を母体にして法人化ができれば、雇用の促進につながって、人も集めやすいと思います。

夢は箱崎地区全部、作ってみたいよね。品種構成をさらに分散するとか、方法はまだまだあると思います。夢や目標を聞かれたら果てしないですね(笑)。

※受粉樹…1本で実がつかない品種の受粉用の樹のこと